

社会科・公民科・家庭科教員向けセミナー・研修の実施状況

(別紙8)

	名 称	概 要	実施回数 (25年4~12月)
金融広報 委員会	教員セミナー等	小・中・高等学校等の教員や教育委員会関係者を対象に、金融教育や金銭教育の意義について理解を深めてもらうとともに、学校の授業などにおける、より効果的な指導・実践方法を伝達し、学校における金融・金銭教育を普及・推進させることを目的に開催。夏休み期間中に東京で全国規模のセミナーを開催するほか、本年度は、北海道、宮城、茨城、群馬、埼玉、新潟、滋賀、大阪、兵庫、奈良、和歌山、広島、山口、佐賀、鹿児島で開催。この他、冬期に1~3月に3回開催予定。	21回
	金融・金銭教育 協議会	教員や教育委員会関係者を対象に、金融教育・金銭教育の諸問題を研究協議することを目的に開催。また、PTAなど保護者や地域住民に参加を求めることにより、その取組などの周知を図っている。	7回
	金融教育公開授業	学校で実施される金融教育関連の実際の授業を、教育関係者、保護者、地域住民等多くの方々に参観してもらうことにより、金融教育の重要性の理解を推進する目的で実施。本年度は、全国22か所で開催予定。	20回
全国銀行 協会	授業で使える金融・ 経済プログラム体験 ワークショップ等	各地の教育委員会等で、中学校社会科教員を対象とする「授業で使える金融・経済プログラム体験ワークショップ」を全国で6回実施したほか、社会科・家庭科・商業科教員等を対象とするセミナーを全国で6回開催（5月~10月。岐阜、大阪、貝塚、西宮、泉佐野、富山、東京、笠間、徳島、尼崎、高槻、神戸）。	12回
日本証券業 協会	教員向け金融経済 夏季セミナー	中学校・高等学校の先生や教育関係者を主な対象に、授業の指導内容に即した金融経済情報を提供し、今後の授業に役立ててもらうことを目的に、夏休み期間に開催。本年度は、札幌、仙台、東京、名古屋、金沢、大阪、広島、高松、福岡、長崎、那覇で計11回開催。会場ごとに「授業に役立つ金融経済セミナー」、「公民科・社会科研究セミナー」との名称で開催。	11回 (各会場1~3の 日程で開催)
	教育管理職セミナー	中学校・高等学校校長ならびに副校長・教頭、その他教育関係者を対象に、学校における金融経済教育の必要性への理解を深めるとともに、金融経済教育の導入を促進することを目的に開催。	1回
日本取引所 グループ	先生のための 「夏休み経済教室」	中学校・高等学校の社会科・公民科・家庭科教員の方を対象に、教室で経済を教えるうえで役立つ考え方や知識を実践的に学ぶ講座で、夏休み期間に開催。本年度は、東京、大阪、名古屋、福岡で計10回開催。今後、12月30日（月）大納会の日、「先生のための冬休み経済セミナー」を開催予定。	11回